

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 市内企業と連携した消防団活動のPR事業

自治体名

三重県鈴鹿市

消防団名

鈴鹿市消防団

1 事業の目的

●鈴鹿市消防団は高い充足率を維持している一方で、消防団の広報活動は著しく少なく、市民が消防団を知る機会があまりないのが現状である。また、全国消防団員の平均年齢と比べて高く、活性化が進んでいないため、モデル事業を活用し、若年層への消防団理解を促進し、団員確保や地域住民の安全に繋げる事を目的とする。

2 事業内容

●地域住民や市内企業の消防団活動への理解を深め、団員確保・地域住民の安全に繋げる事を目的に、下記の事業を実施した。

- ・地域密着型生活情報誌への掲載
- ・鈴鹿市公式マスコットキャラクター「ベルディ」の消防用ベルディを作成し、イベント等で活用。
- ・消防団PR動画を制作し、市公式YouTubeやSNSに掲載するほか、イベントで放映。また、併せて広報チラシを作成し、イベント等で配布。
- ・消防イベント「しょうぼうさい」の会場・資機材を借上げ、センターコートにて消防団ブースを設けた。
- ・移動式スタンドモニターを購入し、制作したPR動画等を放映。

3 事業成果

●今回の目的である、若年層への消防団の周知のため、市公式YouTubeやSNSを効果的に活用し、若手や子育て世代に幅広く消防団を知るきっかけを作ることができた。また、電子媒体だけでなく、地域密着型生活情報誌や広報チラシ、市広報誌等の紙媒体も活用するなど、頻回に様々な媒体で様々な年代に消防団を知る機会を設けることができた。その結果、市内大学生31名の入団希望があり、機能別団員（学生団員）に25名、基本団員に6名の入団が決定した。

●一年を通してPRを行い、市内の大規模消防イベント（しょうぼうさい、消防出初式）で消防団ブース等で数多くの市民に参加してもらい、少しずつ消防団が認知され、広報活動としては成功したように思う。

【しょうぼうさい来場者数】 34,523人（同様昨比122.7%）

●市内にデジタルサイネージを所有している事業所や消防団協力事業所等を訪問し、制作したPR動画や広報チラシを放映・配架してもらうなど、市内事業所の理解促進を進め、団員の必要性、重要性を再認識してもらうことができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
企業への訪問	か所	50か所	14か所（チラシ配布は150機関）	
地域密着情報誌（消防団特集）	部	84,800部	84,800部	
広報イベント	回	5回	15回	

5 その他参考情報

●鈴鹿市消防団公式Instagram

https://www.instagram.com/suzuka_shouboudan/?hl=ja

